

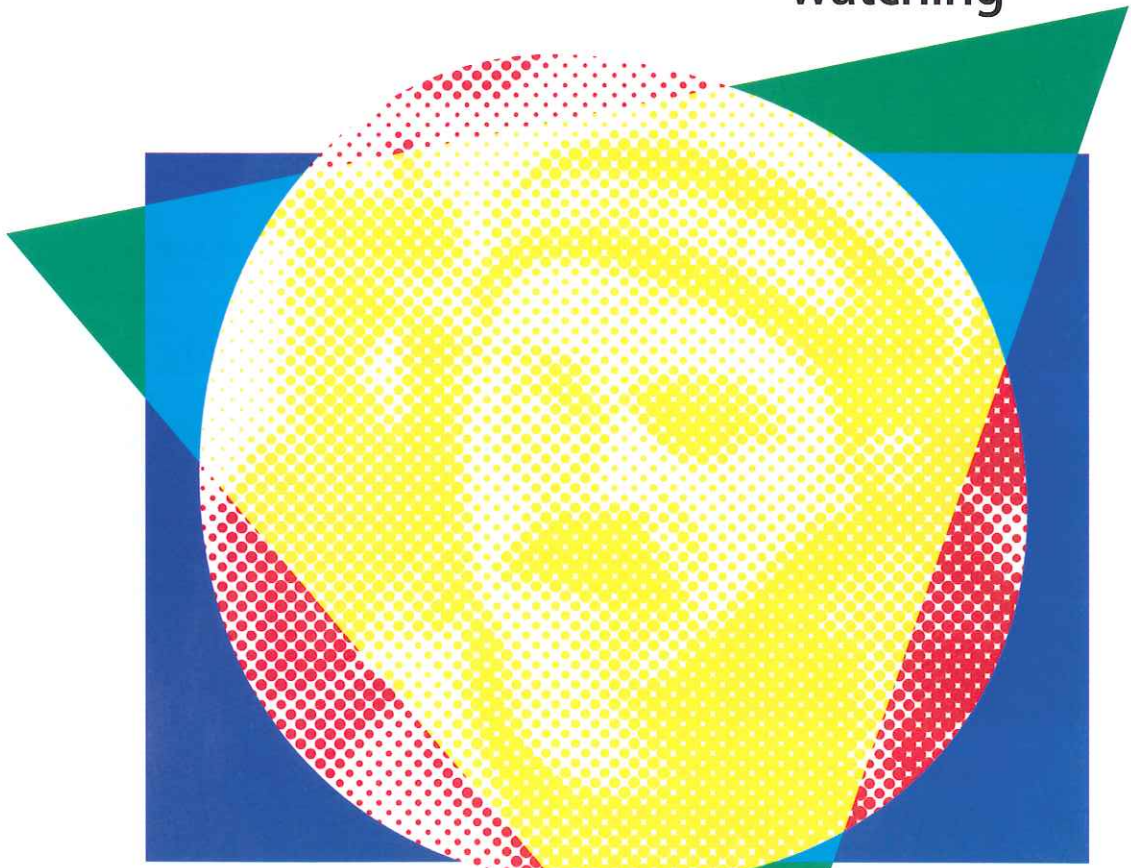
SHURE UNIVERSITY INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

シューレ大学国際映画祭
生きたいように
生きる
11th

Season2-1

つくりたい、みたい、みせたい。

watching



showing

creating

2018.8.24^{Fri} - 8.26^{Sun}

会場：シューレ大学特設シアター

特別選考委員：土屋トカチ

■ユルマズ・ギュネイ「路」

■公募作品「八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨 杵臼コタンへ」

■シューレ大学作品

■海外招待作品「勉強の理由：もしそれがあるならば…」

主催：シューレ大学国際映画祭実行委員会



生き難さを感じながらも、その生き難さの正体も自分とは何者かさえ分かりにくい状況に私たちはいます。

この生き難さに向かい合う在り方は様々ですが、私たちは映像表現でこの生き難さに穴を穿っていきたいのです。映像を創ることで、映像を見たり、見せたりすることで、私たちは大切な何かを見つけたり、大切な誰かに出会ったりできると信じたいのです。10年経って第2シーズンに入り、映像を創ることに加え、既にある映像を見る・見せるということも大切にしたい映画祭にしていこうと考えました。あなたのご来場をお待ちしています。

上映作品

1. 路 / YOL

監督：ユルマズ・ギュネイ Yilmaz Güney



ある島の監獄から、5人の囚人たちが仮出所を許された。彼らはそれぞれの故郷へ帰ろうとするが、彼らを待ち受けるのは悲劇的な運命だった…。現代トルコ社会の様々な問題とその中で、必死に生きようとする男たちの葛藤と人間的な苦悩を描いた。

監督のユルマズ・ギュネイが獄中から指揮をとって完成させた執念の作品。

■1985年 / 115分 / トルコ・スイス / 言語：トルコ語 / 日本語字幕
 ■language : Turkish / Subtitles : Japanese

2. 勉強の理由 もしそれがあんならば… / If there is a reason to study



監督：楊逸帆 Adler Yang



監督の楊逸帆は台湾の自由なオルタナティブスクール・ヒューマンティスクールに通っている。彼の親友、立安は才能に溢れ、ヒューマンティスクールでのびのび学んでいる。そんな彼が、高校受験のための過酷な試験に直面した。友人たちはみな試験合格のために、自身の大事な夢や思いを諦めていっているように、逸帆には見える。なぜそんなことになるのか？彼は立安や他の友人たちにカメラを向けた……。

■2014年 / 97分 / 台湾 / 言語：中国語 / 日本語・英語字幕
 ■language : Chinese / Subtitles : Japanese, English

3. 緑子 / MIDORI-KO

監督：黒坂圭太 Keita Kurosaka



西暦20XX年、5人の科学者が開発した「夢の食材」MIDORI-KOが脱走、農大生ミドリ部屋の扉へ逃げ込んだ。ミドリは「MIDORI-KO」を飼育するが、アパートの住人達に見つかって大騒ぎ。科学者たちも乱入して「MIDORI-KO」の争奪戦が始まった。黒坂圭太監督初の長編アニメーション作品。

■2010年 / 55分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language : Japanese / Subtitles : -

25日の18:30の回 講演

黒坂圭太 プロフィール

1956年生れ。アニメーション作家。武蔵野美術大学映像学科教授。多彩な技法を用いて作品を創作する。主な作品に『山川景子は振り向かない』(2017)、『ババが飛んだ朝』(1997)、『ATAMA』(1994)、『個人都市』(1990)など。



4. 戦艦ポチョムキン / Battleship Potemkin

監督：セルゲイ・エイゼンシュテイン Sergei Mikhailovich Eisenstein



1905年夏、オデッサ沖に停泊していた戦艦ポチョムキン号で、上官からの不当な扱いに怒った水兵たちが反乱を起こした。彼らの行動に心打たれたオデッサの市民達も同調し、反乱の波はしだいに大きく広がっていく。一方、この反乱を市民もろとも鎮圧するため、軍隊が迫ってきていた。セルゲイ・エイゼンシュテイン監督の映画史上に残る傑作。

■1925年 / 74分 / ソ連 / 言語 (サイレント) : ロシア語・日本語字幕
 ■language (Subtitles) : Russian, Japanese

5. 経年劣化 / The Aging Degradation

監督：土屋トカチ Tokachi Tsuchiya



10年間撮りためた「3分間ビデオ」から9作品を選び、ロックアルバムのように綴る短編。故郷、解雇争議、NHK集金人、カフェ、両親、友人などをモチーフとしたセルフドキュメンタリー集。「散歩道」「初めてのは、いつも」「リモコン」「われたツメ」「自由な感じ」「そこにある、ベルク」「なかのブレーキ」「これじゃない」「オクターブ上で」を収録。

■2013年 / 30分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language: Japanese / Subtitles: -

26日の16:30の回 ディスカッション

土屋トカチ プロフィール

京都府舞鶴市出身。映画監督。1997年にビデオ制作に興味を持ち、映像の勉強を始める。2000年にネット上のストリーミング動画配信会社に就職し、番組ディレクター等を担当。2002年に退社後、フリーランスで映像ディレクターを務める。ドキュメンタリー映画「ツツの仕事をしたい (A Normal Life, Please)」、「経年劣化」など。映像グループローポジション所属。



つくる / シュレ大学作品

6. 様式宣言 / The Declaration of Yoshiki Drama

監督：豊雅俊 Masatoshi Toyo / シュレ大学映像プロジェクト



前衛劇団山の手事情社の看板俳優大久保美智子は三島由紀夫の「班女」を演出主演する公演を企画する。大久保には日本の現代劇にもっと内面のスケールの大きい劇ができるはずという思いがある。それを可能にするのは能の様式だろうという見当もある。果たしてその企画は成功するのか！

■2018年 / 33分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language: Japanese / Subtitles: -

7. 曠野 / Koya

監督：高橋貞恩 Sadafuyu Takahashi / シュレ大学映像プロジェクト



童話作家・小川未明の短編「曠野」をモチーフにしたアニメーション作品。荒野にただ一本生えた松と旅人との出会いを描く。自然の描写に思いを込めて表現したドローイングアニメーション。

■2018年 / 8分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language: Japanese / Subtitles: -

8. マリコー平和を求め続けた三代の物語 (新編集版)

Marico -The Trail of Three Generations of Terasaki Family to Realise the Peace

監督：豊雅俊 Masatoshi Toyo



1941年戦争前夜、日米関係が急速に悪化していく中、二人の外交官の間で交わされた「マリコ」という少女の名は、米側の態度を示す暗号だった。この女性マリコ・テラサキは、駐米外交官である日本人の父とアメリカ人の母との間に生まれ、太平洋戦争を生き抜いた。戦後は日米の「かけ橋」として、

平和への活動を続ける彼女の半生を追ったドキュメンタリー。

■2014年 / 30分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language: Japanese / Subtitles: -



つくる / 公募作品

9. インスタ・クイーン / The Instagram Queen

監督：羽賀慎一郎 Shinichiro Haga



写真投稿 SNS 「インスタ」にはまる水野ひとみは、クラスの人気グループに取り入り華やかな生活を送り、写真をインスタに投稿し「イイネ」をもらうことを生きがいとしていた。あるとき、幼馴染でカメラオタクの「ダサイ」奈津子がいじめの対象となり、ひとみもその片棒を担ぐことになるが……。増やせフォロワー、狙え最強の「イイネ!」。虚飾に満ちた世界に生きる彼女が行きつく先は……?

■2018年 / 34分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language: Japanese / Subtitles: -

10. 八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨 柙白コタンへ

The Return of the Ainu Bones to the Home Kineusu Kotan after 85 year Abduction

監督：藤野知明 Tomoaki Fujino



1931年、形質人類学の研究目的で北海道大学医学部の研究者が北海道、浦河町の墓地からアイヌの遺骨を持ち去った。同様に全国の大学が集めた遺骨は1600体を越える。アイヌは過去と現在をつなぎ、自分が何者かを確認する「慰霊」の機会を奪われ続けている。2012年、浦河町出身のアイヌが先祖の遺骨について話し合うため、北海道大学の総長に面会を求めたが拒否された。祖先の遺骨を取りもどし、アイヌの風習で再埋葬するまでの記録。

■2017年 / 25分 / 日本 / 言語：日本語 / 字幕なし ■language: Japanese / Subtitles: -



フリースクール・ユース部門



相馬クロニクル 2015より

この部門は、フリースクールでの映像表現がより豊かになることを願って続けてきた部門です。今年から、フリースクールに限らず、ホームエデュケーション(家庭を基盤に育ち・学ぶあり方)、制度の学校などのユースも対象とした部門とし、門を広げました。その1回目となる今年は、津波と原発の被害を受け

た福島県の相馬高校放送局の作品「相馬クロニクル 2014・2015」、ホームエデュケーションで育った若者の作品「フトフコパー」、ロシアのオルタナティブスクール(モスクワ国際フィルムスクール=MIFS)の作品を上映します。どの映像もみずみずしい感性が映像となってスクリーンに映し出されます。

8/24日(金)	8/25日(土)	8/26日(日)
	11:00~ 路	
13:30~ フリースクール・ユース部門 国内外の子ども・若者の 映像作品の上映&制作者の トークセッション この回のみ参加費500円 (前売りなし。会場に直接お越し下さい)	13:30~ 八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨 柁白コタンへ 戦艦ポチョムキン ★「八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨 柁白コタンへ」 藤野知明監督トークセッション	11:50~ 勉強の理由:もしそれがあならば… ★「勉強の理由 もしそれがあならば…」 楊逸帆監督トークセッション
15:00~ 路 ★トークセッション「『路』を語る」	16:00~ 勉強の理由:もしそれがあならば… 曠野 ★「曠野」高橋貞恩監督トークセッション	14:30~ 八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨 柁白コタンへ インスタ・クイーン マリコ
17:40~ 様式宣言 インスタ・クイーン ★「様式宣言」豊雅俊監督、 「インスタ・クイーン」羽賀慎一郎監督 トークセッション	18:30~ 緑子/MIDORI-KO 講演 「緑子/MIDORI-KO」黒坂圭太監督	16:30~ 曠野 様式宣言 経年劣化 ★土屋トカチ監督と制作者で 映像制作に関するディスカッション

※カフェコーナーをご用意しております。

● 交流パーティ (参加費別)

参加費 / Fee

一回券	1,000円 (早割)	1,200円 (当日)
フリーパス	3,000円 (早割)	3,500円 (当日)

※フリーパスチケットは全ての回をご覧いただけます。
ご希望日の前日までにお申し込みいただくと、当日参加よりお安くご覧になれます。

早割のお申し込み方法

1. email またはFAXにてお申し込みください
2. 確認メールをお送りします
3. 郵便振替にてご入金ください
4. 入金確認後、チケットをお送りします

email : univ@shure.or.jp Fax : 03-5155-9802

件名を「映画祭予約」とし [お名前] [割引の種類と枚数] [郵便番号] [住所] を
本文に明記の上、送信してください。

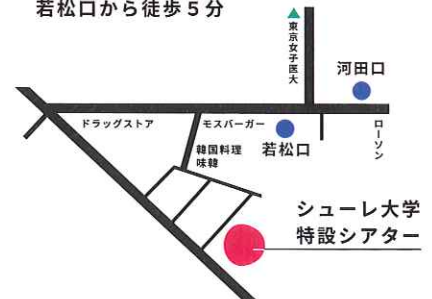
振込先 郵便振替 加入者名: 東京シュレ 口座番号: 00160-0-765397

お問い合わせ先: シュレ大学 Tel:03-5155-9801 email : univ@shure.or.jp

※作品および上映時間を変更する場合があります。ご予約・ご来場の前にHPでご確認ください。

会場 シュレ大学特設シアター

■都営大江戸線 若松河田駅
若松口から徒歩5分



住所: 東京都新宿区若松町 28-27

■シュレ大学

1999年にフリースクール東京シュレを母体に若者とスタッフで設立した。知る・表現するということ
を自分のスタイルで進めることで、自分とは何かを
問い、自分の生き方を創り出すということを模索
する場となっている。現在、学生30人、スタッフ4
人に、原一男、平田オリザ、最首悟、上野千鶴子ら様々
な分野のアドバイザーが約50人いる。